

実践事例演習 I 事前課題「理論を言語化する」

事前学習資料、ワークブックⅡ掲載（p 21～40）の『新 社会福祉援助の共通基盤 第2版』上巻の「社会福祉士がとらえる相談援助 第4節 社会福祉援助活動の展開過程」を読み、社会福祉士取得を目指している学生に説明をするためのレジュメを作成してください。

※今回はオンラインの講義となり、ワークブックⅡ p 20の課題を変更していますので、以下を必ずご確認の上、課題に取り組んでください。

（※下線部分と以下の枠内が、ワークブック p 20の事前課題の変更箇所です）

- レジュメは、A4用紙1枚から2枚で、配布用資料としてまとめてください。
レジュメの先頭に、受講者番号、受講者氏名を必ず記載ください。
- レジュメの内容は10分で発表できるようにまとめてください。なお、「理論を言語化する」のが本演習のテーマですので、ご自身のまとめ方でレジュメを作成してください。そのため、学生に質問し学生が説明するだけのまとめ方は、課題の意図に合いません。
- レジュメは次の方法で締め切り日までに、メールへ添付した上で提出してください。
（ワークブックに記載の7部の印刷の準備は不要ですが、研修当日は手元に1部印刷しておいてください）
- 事前課題の提出がない場合は、講義の出席は認められません。

◎事前課題の提出のお願い

- ・提出締切： 2022年7月8日(金)
- ・提出先：kensyu-kadai@hacsw.or.jp
 - ★件名に「基礎Ⅱ 7/8 提出課題」とご記入ください。
 - ★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。
 - ★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。
入力例：受講者番号20222001 福祉太郎さんが課題を提出する場合
「20222001 福祉太郎」と入力してください。

集合研修4「実践事例演習」（オンライン研修③「実践事例演習」）では実際にレジュメを使用し発表していただきます。当日までに、作成したレジュメを使用しての内容説明ができるようにしておいてください。

- ・説明時間の多少はありますが、グループ別の演習にて、全員の方に説明をしていただきます。
- ・受講当日、作成した事前課題は画面共有ができるようにあらかじめデータを開いておいてください。
- ・また、画面共有ができない場合に備え、事前課題を1部印刷したものを手元に置いてください。（画面共有の代わりに、カメラに映していただきます）